

学力分析シート【学年：1年 教科：国語】

実施日：令和3年4月12日 実施テスト名【標準学力調査】 作成者【泉 里香】

課題が大きいと考えられる問題(正答率が低い、県(全国)との差が大きい)

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
5(3)	文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。	43.5	49.2	<ul style="list-style-type: none"> 話の大意がなかながれを捉えることができていない。 文章の中で言葉の意味を捉えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のはじめに大まかな流れをとらえる活動を取り入れる。 文脈の中で言葉の意味を捉えさせる。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
4(2)	情報と情報との関連について理解し、文章全体の構成をとらえている。	64.5	67.9	<ul style="list-style-type: none"> 段落の働きや段落同士の関係が理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を捉え、説明させる活動を行う。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県(全国)		
5(1)	登場人物の様子について、描写をもとにとらえている。	63	64.7	<ul style="list-style-type: none"> 場面の状況を捉えることに課題がある。 「ひやり」という言葉の理解ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の整理をする活動を取り入れる。 言葉の確認をする。 文脈の中で言葉の意味を考えさせる。

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	<p>「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違える児童が多かった。算数科の「対称」と間違える生徒が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。